

生駒市まち・ひと・しごと創生総合戦略会議(全体会) 意見集約シート

[評価基準]A:高い成果が得られた B:予定どりの成果が得られた C:一定の成果が得られた D:やや不十分な成果にとどまった E:成果は不十分もしくは見られなかった

基本 目標	基本的 方向	具体的施策	施策名		施策内容	施策の効果についての意見	評価(人)					
							A	B	C	D	E	
1 ・ 1 子育て 層の 時間 的な ゆと りをつ くる	1-1-1 保育園の新 設・機能強化	111①	111①	保育所の整備	増加する保育需要に対応するため、待機児童の多い地域を中心にその解消等に向けた保育所の整備を行います。また、地域型保育事業の積極的な展開を進めます。	<ul style="list-style-type: none"> ・弊社運営している「ばーぐるmama」アプリの子育てママ会員(県内、約10,000人)のユーザー様から「生駒市は子育てするママに優しいまちだ」というお声をいただきます。そういった意味合いにおきまして基本目標(1)に関しましては総じて高評価出来ると思います。 ・基本目標1及び2は、「出生率の引上げ」を狙った施策であり、出生率の推移についても注視していく必要がある。 ・今後は、小規模保育所の新設も必要だが、需要が弱くなった場合の統合・廃園などが難しい。計画的な運用を望む。学研地域への誘導を考えていただきたい。 ・待機児童数の減少推移は若干鈍いものの、H28年度は地域型保育所の新設等、また、H29年度も小規模保育所の新設計画等ハード面の整備、進展が期待できる。一時預かり保育の延べ利用児童数は目標値を大きく超える実績を上げており、また、保育施設・サービスに係る満足度も向上しており、確実に保育サービスの充実が図れている。今後も計画通りのハード面整備とともに、一時預かり保育等サービスについては休日等の一層の利用アップのため、広報誌や小児科医院等で積極的なPRを期待する。 ・KPIについては目標値を上回る成果が出ているが、補助指標である保育施設・サービスに対する満足度は重要な指標であり、公立と私立との比較を含めて課題を分析のうえ改善策を講じる必要がある。 						
			111②	一時預かり保育等保育サービスの充実	保育所において、延長保育や一時預かり保育、休日保育、病児・病後児保育等を実施します。さらに、保育サービスの充実に向けた検討を行います。			2	6	1		
			111③	私立保育所の保育環境改善事業	私立保育所において、保育ニーズに応じた利用しやすいサービスが提供されるよう、事業者に対する働きかけや支援を行います。							
	1-1-2 幼稚園の保 育機能の充 実	112①	112①	幼稚園での預かり保育の実施	多様な保育需要に対応するため、市立幼稚園における長時間預かり保育を行います。	<ul style="list-style-type: none"> ・よりよいサービスを行うには、より質の高い人材確保が必要とされます。保育士の雇用面や待遇面を更に改善することで充実した保育施策が実施できるのではないかと考えられます。 ・イクボス宣言やイコマドの利用など、大手の事業所の勤務体制の協力をお願いする。また、国・県等への強力な働きかけが必要。 ・長時間預かり保育実施園数、幼稚園・小中学校との連携事業数とも計画通りの進捗となっており評価できる。本制度の継続的な定着には、コメントの通り職員の勤務体制の整備が急務と考えられる。 	1	7	1			
			112②	幼稚園における幼保一体化の支援(幼稚園への保育機能の強化)	幼稚園において、多様化する保育ニーズに対応した保育機能を充実するため、認定こども園の整備を行うとともに、幼稚園と保育園、学校と連携した就学前教育に取り組みます。							
	1-1-3 病児保育機 能の強化	113①	113①	病児保育等、病院への育児機能の導入	市立病院等における病児保育サービスを拡充します。	<ul style="list-style-type: none"> ・ニーズを把握するというよりは、そのようなサービスがそもそも市が実施しているか知らない人が多いような気がします。 ・利用者数が定員を大きく下回っている点については、原因を分析のうえ改善策を講じる必要がある。 ・具体的な検討へ着手されていない。早急に病児保育サービスへのニーズを吸収し、具体的な方策を決定する必要がある。 	1	1	3	3	1	
1 ・ 2 コ ミ	1-2-1 子育て層を 応援する情 報提供の推 進	121①	121①	子育て層向けの情報発信	妊娠・出産・子育てに関する知識・技能を修得するための講座開催とともに、乳幼児の予防接種や定期健診等のスケジュール、子育て層が訪れやすい店舗や交流機会など、ITを利用した多様な情報の発信に取り組みます。	<ul style="list-style-type: none"> ・意識の高い子育てママは積極的にインターネットで調べたり講座に参加すると思いますが、そこまで気が回る余裕がなかったり、時間に追われているママに対しても十分な情報を提供できるプラットフォームづくりが大切だと思います。 ・市ホームページの子育て関連ページへのアクセス件数、赤ちゃんの駅利用者数共目標値を大幅に超過する実績となり、子育て層向けの情報発信への取組にに相応の効果が見られた。引き続き利用者のニーズ吸収を図りつつ継続的な情報発信を行うとともに、「赤ちゃんの駅」の施設拡充による定着化、利用者の増加を図る必要がある。 ・H29年度の取組予定として「目標登録数55箇所」と掲げられているが、民間施設の登録数が伸びていない点については、原因を分析のうえ改善策を講じる必要がある。 	6	2	1			
			121②	赤ちゃんの駅普及啓発事業	乳幼児とともに安心して外出できるよう、公共施設や商業施設において、オムツ替えや授乳が出来るスペース「赤ちゃんの駅」の設置を促進します。また、子育て層が子ども連れで安心して利用できる店舗や施設であることを登録し、発信します。							

生駒市まち・ひと・しごと創生総合戦略会議(全体会) 意見集約シート

[評価基準]A:高い成果が得られた B:予定どおりの成果が得られた C:一定の成果が得られた D:やや不十分な成果にとどまった E:成果は不十分もしくは見られなかった

基本目標	基本的方向	具体的施策	施策名	施策内容	施策の効果についての意見	評価(人)				
						A	B	C	D	E
1 子育てしやすいまち	ユニティ形成等を通して子育て層の精神的なゆとりをつくる	1-2-2 子育て層の交流促進	122① 子育てサークルの支援	子育て層の孤立を防ぐため、子育て支援総合センターを中心とした子育て相談や育児教室の開催、子育てサークルによる活動の拡大等、子育て層同士の学び・交流の機会を充実します。	<ul style="list-style-type: none"> 子育てサークルの支援の実態を報告したほうが良い。みつきランドの充実は評価できるが、子育てサークル支援とはいえない。 地域子育て支援拠点の利用者数は目標を上回る成果となったが、子育てイベントの男性の参加者数は減少傾向にある。保育園、幼稚園、学校等との連携強化等多様な情報発信により認知度を高め、参加者増加に繋げる必要がある。 近年は、子育てをママに押し付けるのではなく、パパも積極的に取り組むスタンスが、若い世代ほど増加しているように見受けられます。そのような機運があるタイミングに活動をインターネットやSNSなどを利用し、拡散することで更に啓発できるのではないのでしょうか。 パパのための子育てイベントは家庭で活かせる支援を中心に実施してほしい。 	1	6	2		
			122② パパのための子育てイベントの開催	男性の育児への積極的な参加を促すため、保育園や幼稚園、学校等と連携し、父親が主体となった子育て交流イベントを開催します。						
		1-2-3 地域で子育てを見守る体制の強化	123① 地域・行政・周囲のひとによる子育ての見守り強化	乳幼児を持つ家庭への訪問による見守り、虐待等の未然防止に努めるとともに、家庭、保育機関、学校、地域等が連携して子どもの人権や安全を守る意識を育てます。	<ul style="list-style-type: none"> 報告をされている件数より、実際に起きている件数の方が多いと思われるので、抑止に繋がる啓発事業と並行して、受け皿になるプラットフォームづくりが大切だと思います。 新生児・乳児訪問の実施率はほぼ計画通りの推移となっており評価できる。体制を一層強化、充実させるため、母親だけでなく父親や家族、また、地域住民への認知度向上が課題。 		8	1		
		1-2-4 地域活動への参加機会の創出	124① ママのプロボノ活動促進事業	結婚や出産を機に退職した後、再就職を目指す女性や育児休業中の女性が、仕事で培った経験やスキルを活かしてプロボノ活動に参加することで、NPOの組織運営を支援するとともに、女性が社会貢献できる場を創出し、育児休業後のスムーズな職場復帰のサポートや再就職に向けたウオーミングアップに取り組めます。	<ul style="list-style-type: none"> 市民活動推進センター等の努力には敬意を表する。目標値が高すぎる気もする。 出産・育児を経験した女性が、自分のその経験をプロボノ活動で発揮することで、将来、結婚や出産に対する漠然とした不安を抱えている女性に安心を与える活動をされている方々を個人・団体に関わらず存じ上げておりますが、それぞれが抱えている問題は、やはり財務です。その活動をするための資金やマンパワーが不足し、活動に苦しんでいらっしゃる方も多く見受けられます。組織を運営していく以上、やはり経営力をつけないと、想いを持ってご活動されること自体は素晴らしいのですが、その活動が持続可能な方法を見出せないまま終わってしまっはもったいないので、そういった方向への経営セミナーをされてはどうでしょうか？ NPO等は、ソーシャルビジネスを進めるうえで様々な課題を抱えており、行政、支援機関、専門家、助成機関、金融機関等がネットワークを構築して支援にあたることも必要ではないか。 		8	1		
			124② 新規NPOの立ち上げ支援	子育て層の社会参加の意欲を喚起し、地域社会の課題解決につながる活動に取り組もうとする新たなNPOの立ち上げに向けた支援や、活動推進に向けた基礎知識の習得、及びマネジメント等に向けた支援を行います。						
			124③ NPOの広報活動の支援	子育てしながら、地域社会とのつながりを持った活動への参加を促進するため、らぽーと登録団体の活動内容のPRや、子育て層が気軽に参加できる団体実施事業の広報支援を行います。						
		1・3 良好な環境の中で安全	1-3-1 災害・犯罪等に対する安全性の向上	131① 公共施設の耐震化	耐震診断に基づく市庁舎の適切な耐震化の実施や、防災拠点における資機材整備を進めます。	<ul style="list-style-type: none"> 公共施設の耐震化等のハード面ではいち早く整備が進んでおり、また、子育て層の定住意向「ずっと住み続けたい」の割合も昨年度比改善され成果が窺える。なお、防犯・防災面等では、住民による自発的な活動等、マインド面を一層醸成する具体的施策が必要。 昼間の総合防災訓練は一応の成果は認めるものの、地震等の発生は未だに予知は完全ではなく、今後、早朝や夕方の訓練の検討をお願いしたい。地域ぐるみの取り組みが必要。 刑法犯罪発生件数は減少しているが、防犯カメラの効果と言えるのか。もう少し詳しい分析が必要と考える。防犯カメラ以外にも、携帯電話でのインシデント報告など可能な施策を検討しても良いのではないか。 	9			
				131② 乳幼児を持つ世帯のための防災知識の普及啓発事業と防災用品の備蓄	乳幼児をもつ世帯を対象に、身の回りの安全チェックや災害発生時の行動等の防災知識の普及啓発を行うとともに、乳幼児用の防災用品を備蓄します。					
				131③ 自主防災会の活動支援・促進	自主防災活動を活性化するため、自主防災会の結成を促し、事業者等の複数団体等との連携による防災訓練の実施や、市民団体等への防災訓練の支援を行います。					
				131④ 自主防犯活動支援・促進	犯罪の起こりにくい明るいまちづくり実現のため、自主防犯意識の高揚や防犯ネットワークの構築の推進など、地域による自主防犯活動を支援します。					

生駒市まち・ひと・しごと創生総合戦略会議(全体会) 意見集約シート

[評価基準]A:高い成果が得られた B:予定どおりの成果が得られた C:一定の成果が得られた D:やや不十分な成果にとどまった E:成果は不十分もしくは見られなかった

基本目標	基本的方向性	具体的施策	施策名	施策内容	施策の効果についての意見	評価(人)				
						A	B	C	D	E
安心して生活できる地域をつくる	1-3-2 地球環境にやさしいエネルギー利用の推進	132①	再生可能エネルギー(太陽光発電等)の導入	官民連携のもと、市役所や市立病院等の公共施設を中心とした太陽光発電、蓄電池、コージェネレーションシステム等の導入に取り組むとともに、民間事業所等における再生可能エネルギーの導入促進に努めます。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域エネルギー会社の設立により弾みがつくことを期待したい。 ・再生可能エネルギーについては導入事業者が減少傾向にあり、目標値の達成には新たな促進策が必要である。 ・太陽光発電システムの設置基数は充電価格等の外的要因にも左右されるため、計画比より下振れているものの増加基調にあるのは評価できる。新電力事業も進展しており、今後も進捗を期待したい。 		6	3		
			133①	既存住宅の流通支援	既存住宅流通等促進奨励金交付制度を創設し、既存住宅の流通を支援します。	<ul style="list-style-type: none"> ・KPIについては、一定の成果は出ているが、既存住宅の流通促進(子育て世帯の定住等)にどのくらい寄与しているのかの検証も必要ではないか。 ・業界、業者との一層の連携強化等による認知度向上が必要と思われる。 ・「検討懇話会」の設置に期待する。 	1	1	6	1
			133②	既存住宅の診断や改修に対する支援による流通促進	耐震改修やリフォーム、バリアフリー化に関する相談窓口等を設置するとともに、耐震診断・改修に対する支援を行うことにより、既存住宅の流通を促進します。					
不安を軽減する	1-4-1 子育て世帯への経済的支援	141①	医療費助成等	子育て世帯の経済的負担を軽減するため、医療費の助成を中学校卒業までの子どもがいる家庭に拡充するとともに不育症に対する治療費の助成を行います。	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校卒業までの助成拡大は評価できる。 ・医療費助成の中学生への拡大等の施策により、子育て世帯の医療サービスに関する満足度は大きく向上しており相応の成果が発揮できた。一方で、乳幼児健診受診率は低下傾向にあり、その要因分析とともに対策を講じる必要がある。 	2	6	1		
			141②	母子保健の充実	健やかな妊娠・出産を迎えるための妊婦一般健康診査の費用助成を行います。また、乳幼児健康診査・訪問指導・育児教室・子育て相談などの事業により、育児支援を行います。					
企業を業で広げ多様な働き方	2-1-1 ワーク・ライフ・バランスの推進	211①	ワーク・ライフ・バランスの普及啓発	仕事と育児の両立を促進するため、市民や事業者へのワーク・ライフ・バランスについての意識啓発や、市役所や市内事業所を対象に、育児休業等の取得促進、ワーク・ライフ・バランス先進企業等の取組の紹介など、子育てしながら就業しやすい環境づくりを支援します。	<ul style="list-style-type: none"> ・地道な努力に期待する。総合大学(近畿大学等)との連携も検討。 ・ワーク・ライフ・バランスの推進には、市民・事業者等への持続的な啓蒙活動が必要である。多様な講座、イベントの継続開催や、商工会議所等各種団体との連携を強化する必要がある。また、出産・子育て等の施策ともリンクさせた活動が必要と考える。 					
			211②	テレワークの推進	ワーク・ライフ・バランスの実現や子育て層の女性の就業機会を拡大するため、テレワークの導入支援やサテライトオフィスの誘致、テレワークセンターの整備等を図り、テレワークの普及促進に取り組みます。	<ul style="list-style-type: none"> ・H29.3月に開設されたイコマドを核としたワークライフバランスの普及啓発活動やテレワーク推進による女性就業機会の拡大など、女性活躍推進に向けて有効な施策が掲げられており、取組継続により効果が期待できる。 ・インキュベーションセンターを子育て中の母親が子連れで利用できるよう改善を求めたい。子育て中の母親が託児所に預けてまで有料施設を利用するか疑問。 ・今後、テレワークの需要はますます伸びていくと思われます。課題は、場所づくりも大切ですが、それぞれの能力や状況に応じた仕事を割り振る、いわゆるマッチング機能になるのは人だと思しますので、そのハブとなる方の能力によってその場所の価値は大きく異なると思います。あと、その働く場所とお子さんを預かる場所を一緒にできないですか？ 	1	1	6	1
			211③	女性の活躍推進	男女がそれぞれ、個性や能力を発揮した生きがいのある人生をおくれるよう、家庭や職場、地域社会等における女性の活躍促進に取り組みます。					
雇用・2市内産業の活性化	2-2-1 市内産業の活性化	221①	企業の誘致	工業団地周辺の基盤整備や補助、支援制度の展開など、魅力ある創業環境を整え、新たな企業誘致に取り組みます。	<ul style="list-style-type: none"> ・H28年度は4社の認定があるなど、相応の実績となった。企業誘致はハードルは高いがその効果は大きく、引き続き継続的な誘致活動が必要である。誘致活動には、商工会議所等各団体や金融機関等との連携も効果的であるとともに、支援制度として補助金のみならず幅広い支援策を検討する必要がある。弊行も全営業店のネットワーク網を活用し、誘致活動をフォローしていきたい。 		8	1		
			221②	設備導入等支援事業	事業拡大や生産性を向上させるため、事業所を対象に、機器購入や事業所の改装等に係る経費について補助を行います。					

生駒市まち・ひと・しごと創生総合戦略会議(全体会) 意見集約シート

[評価基準]A:高い成果が得られた B:予定どおりの成果が得られた C:一定の成果が得られた D:やや不十分な成果にとどまった E:成果は不十分もしくは見られなかった

基本目標	基本的方向	具体的施策	施策名	施策内容	施策の効果についての意見	評価(人)					
						A	B	C	D	E	
2 母親が希望のしごとをできるまち	2, 3 子どもの近くで母親が希望する仕事に就ける環境	2-3-1 ビジネスにつながる人的ネットワークの形成	231①	産官学連携による起業希望者等・起業支援者交流会等の実施	起業意欲のある女性(子育て層)によるビジネスの立ち上げを目指し、パートナーとなる人材とのマッチングや、事業スキームの構築、実際の事業活動の立ち上げを支援する起業支援者との交流会を開催します。また、ビジネスプランコンテストを開催して、飛躍的な成長が期待できる起業者を認定し、集中的な育成支援を行います。	・交流会参加者非常に多く情報交換等相応の効果はあったと考えられる。ニーズ喚起のあと、次項に続く具体的な支援施策とセットで環境整備を行う必要がある。 ・【1-2-4と同様】出産・育児を経験した女性が、自分のその経験をプロボノ活動で発揮することで、将来、結婚や出産に対する漠然とした不安を抱えている女性に安心を与える活動をされている方々を個人・団体に問わず存じ上げておりますが、それぞれが抱えている問題は、やはり財務です。その活動をするための資金やマンパワーが足らず、活動に苦しんでいらっしゃる方も多く見受けられます。組織を運営して以上、やはり経営力をつけないと、想いを持ってご活動されること自体は素晴らしいのですが、その活動が持続可能な方法を見出せないままで終わってしまっはもったいないので、そういった方向への経営セミナーをされてはどうでしょうか？	3	6			
			232①	起業者を支援する体制づくり及び情報発信	ベルテラスにこのイベントや起業支援スペースから芽生えた起業意欲のある方に対し、店舗経営のノウハウの継承・指導等の包括的な起業者の育成支援を実施します。また、そうした支援を効果的に行うための情報発信やワンストップ窓口の設置、起業支援セミナーの開催などを行います。	・ベルテラスのイベント時以外の使い方に工夫があれば良いと思います。 ・女性の創業については、創業前の就業経験が短いこともあって「経営や事業に関する知識・スキル不足を課題と認識されている経営者が多いので、これらを解決するために助言を与えてくれるメンター等の存在が重要であり、「女性経営者との交流」や「経営に関するセミナー開催」等も支援策として必要ではないか。 ・奈良県は女性の創業が少なく、女性の創業促進に向けて取組強化が必要である。女性の創業増加がロールモデルとなり、新たな女性創業を生んだり、女性従業員に配慮した勤務形態の導入等により、女性の就業増加にもつながる。また、女性の創業は、個人向けサービスが多く、女性の家事・育児の負担軽減にもつながり、女性が就業する際の課題解決にもつながる。 ・テレワーク&インキュベーションセンターイコマドのオープンハード面の整備に加え、創業支援者の発掘等相応の成果が見られた。今後は、起業支援希望者に対し具体的に何をしていくのかを広く明示するとともに、商工会議所・金融機関等関係機関との連携を一層強化する必要がある。弊庁としても、金融面、取引先マッチング面、財務アドバイス面等様々な角度からフォローしていきたい。	2	7			
			232②	起業支援スペース等の整備	店舗運営をしたい子育て層の女性起業家に対して、経営指導員等の専門家からのアドバイスを受けながら試験的に店舗を運営し、事業の実現性を高めていく支援を行う場として、起業支援スペース等を整備し、起業者をハード、ソフトの両面から支援していきます。						
	232③	起業者支援融資に係る利子補給	市内産業の活性化に向けて、市内起業家を対象とした、起業費用に対する低利融資・利子補給を行います。								
	2, 4	2-4-1 子育て支援に関する事業活動の創出	241①	地域型保育事業の整備	保育ニーズの高い地域を対象として、待機児童を解消するため、空き家等も活用した地域型保育事業の積極的な展開を進めます。	・事業所内保育事業開園等ハード面の整備は順調に進んでいる。一方、ファミリーサポート事業は利用総数では堅調な推移であるが、地域によって温度差があることから、情報発信の頻度、方法等の再考が必要である。	8	1			
	241②		ファミリーサポート事業の需要・供給両面からの利便性向上	ファミリーサポート事業における会員の登録を進め、地域の子育て支援に関わる人材を確保するとともに、会員相互が子どもを預け、預かる関係づくりを行い、より利用しやすい仕組みを整えます。							
を育てる事	2-4-2 介護・福祉分野における事業活動の創出	242①	介護関係資格取得費の支援	市内の介護施設等で働く介護人材等の不足を解消するため、資格の取得等にかかる費用の支援等を行います。	・近鉄グループで一括採用を実施しているように、大手事業所での採用を希望し、派遣制度等の検討はどうか。大変難しい。 ・介護・福祉関係事業者は起業者を含めて増加傾向にあり、指定審査手続き等も活用して直接支援制度を周知するのも有効ではないか。 ・介護関係資格取得費の支援については、認知度の課題もあり十分には浸透、活用でならず、今後継続的なPRが必要である。助成対象先(勤務地、居住地等)についても幅広く活用いただくため、今一度ニーズをヒアリングし、拡大等再検討が必要である。	1	7	1			
		242②	地域密着型サービス事業所の整備	住み慣れた自宅や地域での生活を継続できるよう、地域密着型サービス事業所の整備を進めます。							

生駒市まち・ひと・しごと創生総合戦略会議(全体会) 意見集約シート

[評価基準]A:高い成果が得られた B:予定どりの成果が得られた C:一定の成果が得られた D:やや不十分な成果にとどまった E:成果は不十分もしくは見られなかった

基本目標	基本的方向	具体的施策	施策名		施策内容	施策の効果についての意見	評価(人)										
							A	B	C	D	E						
	業分野における仕事や人材	2-4-3 食に関する地域産業の創出	243①	新規就農の支援	農地の斡旋、農地情報の提供、営農相談、設備投資支援等による新規就農者への支援制度を拡充することにより、地域農業の振興に努めます。	<ul style="list-style-type: none"> ・抜本的な改革が必要ではないか。観光農園のようなアーモンドの栽培や薬草など検討はどうか。 ・新規就農者数が前年度費倍増するなど、相応の効果が見られる。今後も新規に就農者の増加や、現就業者の定着を図るため、6次化産業の進展、特産品のPR、販路確保・拡大等事業として継続できる体制を検討する必要がある。 	1	6	2								
			243②	農産物の加工・特産品の開発支援	農家と地元飲食店との交流機会の創出や、空き農地を活用した生駒市ならではの農作物や果樹の栽培などの取組の中から、農産物の加工、特産品の開発への支援を進めます。												
			243③	地産地消の推進	黒大豆をはじめ学校給食用食材の安定供給に向けた生産拡大を進めるとともに、地場農産物の販売コーナーの設置などに取り組みます。												
3 子育て層(特に女性)が	3-1 子育て層(特に女性)に	3-1-1 イベントの開催	311①	イコマニア100の実施	市主催や市民・団体との協働で行われる楽しい公共・公益イベントについて、「イコマニア」として認定し、情報発信することで、楽しいまちづくりを実現し、子育て世帯の定住や転入に繋げる。	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的な情報発信により、「生駒市は、女性の子育て支援や就業支援に熱心…」というイメージの浸透が進んでいる。一方、3-2-1のKPIである「子育て層の転入者数」が減少していることもあり、更なる活動の工夫が必要である。 ・「イコマニア」開催回数等、相応の浸透があったと見られる。今後も認知度向上のため、定期的な情報発信が必要と考えられる。 ・ポスターや広報などでの告知など市民への周知は良い。子育て世代の転入には？ 	1	8									
			3-1-2 文化芸術活動やスポーツ・レクリエーション活動への参加機会の創出	312①	文化芸術活動への参加機会の創出	小学校のプラスバンドや中学校の吹奏楽をはじめ、本市は音楽活動が非常に盛んであることから、子育て世帯が親子で参加できる音楽会を開催するなど、子育て層の文化芸術活動への参加を促進する。						<ul style="list-style-type: none"> ・各種イベントについて、相応の参加者数があり一定の成果が見られる。今後も参加者の意見集約等、ニーズを探りより充実したイベント開催を期待する。 ・【3-1-1と同様】積極的な情報発信により、「生駒市は、女性の子育て支援や就業支援に熱心…」というイメージの浸透が進んでいる。一方、3-2-1のKPIである「子育て層の転入者数」が減少していることもあり、更なる活動の工夫が必要である。 	2	7			
				312②	子どもを対象としたスポーツイベントの開催	子どもの体力向上を目指すため、子どもを対象としたスポーツイベントを開催する。											
	3-1-3 教育環境の充実	312③	トップアスリートと市内総合型地域スポーツクラブ、市の連携事業の開催	市内スポーツ施設を活用したトップアスリートと触れ合えるスポーツイベントを積極的に開催する。	<ul style="list-style-type: none"> ・教育に重点を置く本市として、施設一体小中一貫校の立ち上げや、各種講演会の開催等、相応しい成果が見られた。今後は、より実効性の高いものとするため、小中学生の潜在的なニーズを吸収し施策へ活用するよう期待する。 ・「司書の配置の拡充」と「読書をしている児童の割合」には、指標上のギャップがある。まず司書の配置の現状を学校での配置の割合や司書一人あたりの児童数等で調べ、児童についても学校での読書量、貸出冊数などの指標も参考にすべきである。 ・【3-1-1と同様】積極的な情報発信により、「生駒市は、女性の子育て支援や就業支援に熱心…」というイメージの浸透が進んでいる。一方、3-2-1のKPIである「子育て層の転入者数」が減少していることもあり、更なる活動の工夫が必要である。 		7	1		1							
		313①	学校図書館司書の配置の拡充	学校図書館の利用を促進し、市立図書館との連携を深めることで、子どもの読書を促進し、読書の楽しさや大切さを伝えるため、小中学校に図書館司書を配置します。													
		313②	高山スーパースクールゾーン構想	市内初の施設一体型小中一貫校(生駒北小中一貫校)を新設し、9年間を見通した教育課程の作成や、奈良先端科学技術大学院大学との連携事業など特色ある先進的な教育プログラムを実践します。また、就学前の教育、保育を総合的にサポートするため、幼保連携型認定こども園を開園します。													
			313③	夢を与える講演会・学校創造推進事業	各界で活躍する方(経営者、政治家、スポーツ、文化人ほか)を招き、子どもたちが優先して参加できる、夢を与える講演会を実施するなど、特色ある教育活動を実施します。												

生駒市まち・ひと・しごと創生総合戦略会議(全体会) 意見集約シート

[評価基準]A:高い成果が得られた B:予定どおりの成果が得られた C:一定の成果が得られた D:やや不十分な成果にとどまった E:成果は不十分もしくは見られなかった

基本 目標	基本的 方向	具体的施策	施策名		施策内容	施策の効果についての意見	評価 (人)										
							A	B	C	D	E						
転 入 し た い ま ち	3-1-4 協働による魅力創造	314①	生駒の魅力発信プロジェクト		市民PRチーム「いこまち宣伝部」の運用などにより、市の魅力を発見・発掘する中で、まちへの愛情と誇りを深め、シビックプライドを醸成します。「生駒はいいまちだ」と言う口コミのチカラで、発信力を強化し、主体的にまちに関わる人を増やします。	<ul style="list-style-type: none"> •どのようなエリア・層をターゲットにPRされているかに関心があります。 •Webによる調査でも本市の魅力は確実にアップしており成果が見られる。今後も、多様な媒体を介して本市の魅力を継続的に発信することを期待する。 •【3-1-1と同様】積極的な情報発信により、「生駒市は、女性の子育て支援や就業支援に熱心…」というイメージの浸透が進んでいる。一方、3-2-1のKPIである「子育て層の転入者数」が減少していることもあり、更なる活動の工夫が必要である。 	2	6	1								
							3 、 2	3-2-1 まちの魅力発信	321①	子育て・教育環境の良さを効果的に発信	「暮らしやすいまち、生駒」の魅力を、事業者との協働によるバスツアー実施や市民等との協働によるPRサイトの構築などで広く伝える。	<ul style="list-style-type: none"> •目標値が低すぎる気もします。 •女性・子育て層にターゲットを絞った”生駒の魅力”の市内外への情報発信は進んでいると感じられるが、KPIである「子育て層の転入者数」が減少していることもあり、更なる取組強化が必要である。 •本市の子育て・教育環境の良さについての情報発信については、イベントの開催等を通じて相応の成果が見られる。一方で、子育て層の転入数は前年度比反転しており、情報発信のみならず各種施策との連携強化が必要である。 	2	2	5		
													生駒を向 上知 さ度 せや る都 市 プ ラ ン ド カ	3-2-2 観光振興や 広域交流の 促進	321②	子育て関連のパンフレット・ホームページ作成	子育てに関する事業・施策の内容、利用の仕方、実施主体などが明記されたパンフレットを作成するなど、市内外への情報発信を行います。
322①	観光・交流の促進	観光資源の整備や魅力のPR等に努め、生駒市に訪れる観光客数や交流人口の増加を目指します。															